

## 図書館協議会の活動事例

### 1 恵庭市(北海道)立図書館協議会

平成4年7月に市立図書館本館設置時に協議会も設置。委員数は7名(うち公募によるもの2名)。年間開催数4回。平成15年3月「恵庭市立図書館サービス計画」について、図書館長の諮問を受け、移動図書館車を中心とした全域サービスの推進が望ましい等を内容とする答申を提出。最近では「図書館祝日開館を考える市民シンポジウム」を主催、同時に市民アンケート調査も実施した。なおアンケートでは現在の職員体制維持を原則に、「祝日の翌平日を休館にして祝日開館する」「通年民間委託化して祝日開館する」「祝日だけパート勤務化して開館する」など5つのシミュレーション案を提示した。

### 2 旧永源寺町(滋賀県)立図書館協議会

平成12年町立図書館開館時に協議会を設置。委員のうち学識経験者(元県内の図書館長)1名、学校代表(校長)1名。校長以外、5人の委員はすべて町内の図書館利用者で構成されている。年4回開催(うち1回は先進図書館視察)。委員の提案・検討事項例:会議などの利用を促して図書館が町のサロンとしてイメージされるように/図書館へ行く町営バスのダイヤを便利に/町の民具や伝統文化を図書館が保存できないか/子どもへのサービスにおける保育園や保健センターとの連携/図書館マナーの呼びかけ方法/マンガを置く是非/資料提供も行事も両方頑張してほしい/学校と連携した事業/合併による図書館サービス後退を防ぐには…。協議会委員の提案が図書館のあり方に強い影響を与えたり、実際に事業として実施されてきている。

### 3 東村山市(東京都)立図書館協議会

30年前に図書館設置が検討された際に、地域文庫やPTA・学識経験者など12人で構成される「図書館専門委員会」が設置され、図書館基本計画について議論が重ねられた。この市民参画の伝統が、図書館開館と同時に設置された図書館協議会の活動にも生きてきた。委員は学校教育関係者2名、社会教育関係者2名、学識経験者6名以内。あて職ではない市民参加が維持されている。協議・検討事項例:予算編成/夜間開館の導入/紛失資料対策(BDS導入の是非)/図書リサイクル/移動図書館車の運行見直し/ホームレスへの苦情の対応など。予算については、資料費削減や地域図書館活動への補助金削減がないよう、充実に向けた予算の必要性を館長に要望した。夜間開館導入に対しては、市民ニーズ調査やモニタリングの必要性、通常のサービス低下を招くことなく職員を疲弊させない体制の確保を提案した。

\* 以上は『みんなの図書館 2005年6月号』(特集「図書館協議会、動き出す」)に掲載された記事の中から、「市民との協働による図書館政策をコーディネートする」(津川孝)「攻める図書館協議会」(嶋田学)「東村山市立図書館協議会の活動について」(大塚恵三子)の内容を部分的にご紹介したものです。詳細は出典雑誌をご覧ください。